

見どころ案内

7月は観察会月間!

- 7/1 (日) 冬虫夏草観察会
- 7/14 (土) うらら池自然観察
- 7/22 (日) シダ植物観察会

ウツボグサ (シソ科)

東アジアに広く分布する薬草。和名は花の形が矢を入れる道具の鞆(うつぼ)に似ていることから。真夏には、花がらが枯れた状態で残るので生薬名は夏枯草(かごそう)。

アジサイ (アジサイ科)

日本庭園を中心に約140品種 2200株のアジサイを植栽しています。北米原産のアジサイ“アナベル”が満開です。池沿いのカシワバアジサイも咲いています。

展示会のご案内

- ◇展示温室 (6/20~7/16)
- 夏のカラフルリーフ展
- ◇展示資料館 (6/17~7/25)
- 私の好きな花たちの写真展

アエスクルス・パルビフロラ

(ムクロジ(トチノキ)科)

北米原産のトチノキです。あまり大きくならず、傘を広げたような樹形です。花にはかすかな香りがあります。

バーベナ (クマツヅラ科)

バタフライガーデンではバーベナ類が花盛り。モンシロチョウ、ツマグロヒョウモン、ホンミズジ、キアゲハの幼虫などがよく見られます。

タチアオイ (アオイ科)

日本には古くから薬用として渡来し、花が綺麗な為様々な園芸品種が作られています。梅雨入りの頃に咲き始め、梅雨明けの頃に咲き終わることから“ツユアオイ”の別名もあります。

ネムノキ (マメ科)

中央アジアから中国・朝鮮半島、本州四国九州にかけて分布し、夜になると葉が閉じることから名が付けられています。中国においては夫婦円満の象徴とされています。

キョウチクトウ (キョウチクトウ科)

広島市の市の花です。75年間草木も生えないといわれた焦土にいち早く咲いた花で、当時復興に懸命の努力をしていた市民に希望と力を与えてくれました。

熱帯
スイレン
温室
休館中

フリワケサンゴバナ

(キツネノマゴ科)

ヒマラヤ地方原産。英名はチャイニーズレインベル。語源ははっきりしませんが、花の形は雨粒のようにもお寺の鐘のようにも見えます。

スズランノキ (ツツジ科)

北アメリカ産の落葉高木。白いスズランに似た花が少しずつ咲き始めています。秋の紅葉も美しく、三大紅葉樹の一つです。

オオバギボウシ

(キジカクシ(ユリ)科)

植物友の会花壇できれいに咲いています。ベゴニア温室前やロックガーデンではあわせて50品種以上のギボウシを観察できます。

